

いいまち

議会だより

2024年2月15日

第105号

発行：長野県飯島町議会



〈特集1〉 議員のなり手不足! どう考える? p2~3

〈特集2〉 議会と町民による「持続可能な飯島町」へ p4~5

写真/株wave

10年目の駅前イルミネーション(裏面参照)

飯島町議会の情報を発信中! ▶



YouTube



X (IITwitter)



Facebook



Instagram

議員のなり手不足! どう考える?

小委員会内部での調査

飯島町議会のこれまでの経緯を調査と今後の検討

- これまでの飯島町議会の歴史をたどり、「当町にあった議会像・議員像」について議論を行った。
- 飯島町に類似する他の町村の実態を調査した。



町村議会議員の議員報酬等のあり方 最終報告の検討

1. 議員のなり手不足問題と議員報酬

- 議員のなり手不足の原因は、
 - ① 議会の担う範囲が拡大し、活動量の増大にも関わらず、議員報酬が低水準である。
 - ② 報酬が低く、専門が難しく、若年勤労世代が議員になりにくい。
- 少ない議員定数では、十分な委員会の数を確保できず、専門的に活動することが困難という課題がある。
これらを克服する打開策のひとつが議員報酬の再考である。

2. 議員報酬の現状と議員の意識

無報酬や実費弁償程度に直結するボランティア議員を、ほとんどの議員は否定的である。従来は、ボランティア議員に繋がる名誉職的な議員像（奉仕的な性格が強い）が圧倒的に多かった。
年齢に関係なく議会・議員活動はボランティア議員では担えないと感じている。

定数報酬等検討小委員会 設立の経緯

四区連絡協議会から定数・報酬を検討することの陳情があり、設立に至る。

【陳情の趣旨】

- 1) 町議会の活性化をお願いしたい。
- 2) 町議会議員定数削減（限定数12名→10名）をお願いしたい。
- 3) 年齢：25～55歳の町議会議員の報酬の増額をお願いしたい。

他の町村議会視察・調査

中川村議会への視察結果

- 20年間選挙になっていない。
- 職務の不透明性がある。
- 社会保険に入れない・4年ごとの選挙・家族の理解などやりがいはあるが保証がない。
- 兼業の人は仕事との調整に苦労する。

木曾町議会への視察結果

- 隣接町村の30代議員が、生活できないことを理由に1期で辞めたことに衝撃を受けた。
- 「25万円ないと生活できない」と意見はあったが、コロナ禍のため20万円とした。

議員の定数と報酬の比較

定数／飯島町12人・長野県町村の平均10.9人・全国町村の平均12人

報酬／飯島町195,000円・長野県町村の平均176,300円・全国町村の平均216,700円
全国市議の平均423,000円、県議会議員の平均805,000円

まとめ

調査を踏まえ、「当町として今後『議員定数・報酬』をどのようにするべきか」住民の皆さんとともに考える機会を設ける予定です。また、アンケートも予定しています。多くのご意見をお聞かせください。

議会と町民による

6月24日から始まった町民18人と議員12人の「まちびと政策プランナー会議」は、11月11日までにグループ毎に検討してきた政策案を提案・提言書にまとめ、12月1日に唐澤新町長へ提出した。提出した提言・提案書の題目は、以下の通りです。

A

グループ

教育・福祉担当

- 不登校児童への支援の充実を図ることの提案・提言
- 有機給食実現への提案・提言

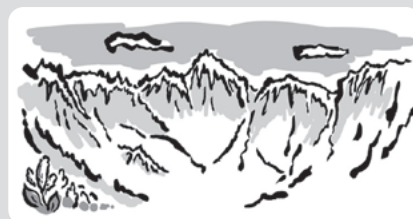


B

グループ

環境・経済担当

- BESTVIEWPOINTの看板（目印）設置の提案・提言
- 飯島町フォトコンテストの再構築の提案・提言
- 観光協会HPとSNSの連携の提案・提言
- 今後の観光業の課題の検証への提案・提言
- 「中央アルプス国定公園」を最大限活用する提案・提言
- 「発酵食品のまち、飯島町」ツーリズムの提案・提言
- 飯島町と三遠地域との関わり方への提案・提言



「持続可能な飯島町」へ

C

グループ

議会・行政担当

- 自主防災会・環境衛生自治会への加入義務付けの提案・提言
- 『まじいい！自由プランプロジェクト』の提案・提言
- 自治会ごとの年会費・入会金・行事等の情報を、事前に公開することの提案・提言
- 中学生を対象にした立候補者による合同演説会の開催を求める提案

議長
まとめ

今後、「まちびと政策プランナー会議」にて提案・提言した内容を踏まえ、議会として町に政策提言などの対応を検討していきたい。



かなうといいな。

今後の予定

2月17日(土) 19:00～

- ・ 町長の提案・提言に対する回答
- ・ 各グループ反省と課題の今後
- ・ まちびと政策プランナー会議の今後

女性の就農改善対策を!

総務産業委員会は、令和5年度補正予算3件の事業調査と付託を受けた2件の陳情審査を行った。調査・審査で出された主な内容は以下の通り。

令和5年度補正予算

一般会計

◆総務課

問 弁護士費用55,000円の内容は。

答 追加の文書作成料。

問 交通対策費の内容は。

答 自転車用ヘルメットの購入に対する補助金で、18歳以下と65歳以上の住民に上限2,000円の補助を20件分見込む。

◆企画政策課

問 財政調整基金繰り入れの理由は。

答 歳出補正の積み上げに対する財源不足に対応。

◆産業振興課

問 女性の就農環境改善対策事業（上限200万円）にて、トイレ整備は建物への併設や耕作敷地内への設置も補助が可能か。

答 両方とも可能。

問 簡易トイレは、対象か。

答 対象外である。

問 雇用人員の縛りはあるか。

答 年間延べ3人以上。



改修が望まれるトイレ

問 農業者初期投資促進事業における減額の内容は。

答 アスパラガス農家から施設整備の申請が取り下げられた。

問 多面的機能支払交付金減額（1,040万円）の要因は。

答 対象外面積が確定したことによる減額。住宅地に転用した農地が主な要因。

問 農家アンケート業務の内容は。

答 令和6年度末までに、10年後の地域農業と耕作者の意向調査のため、農地台帳1筆ごとアンケートを取る。

問 以前も行ったが現場に生かされていないが。

答 各営農組合で対応に差がでている。

◆建設水道課

問 工事請負費の内容は。

答 上の原幹線道路北側の舗装が主なもの。

問 ガードレールの設置は。

答 社会資本整備事業で設置する予定。

問 河川整備事業の内容は。

答 古川ふっかわの大雨による越流対策設計業務・赤坂の北田川の工事増額費用。

◆地域創造課

問 地域おこし協力隊の現状は。

答 現在は、8名が町内で活動している。

陳情

採択すべきもの

商業施設誘致事業においてタウンミーティングあしづか しんいちの場を設ける陳情
参考人：芦塚眞一氏

質議

問 商業施設・タウンミーティング・無印良品の3件を合わせて陳情か。

答 タウンミーティングを設けてほしい。

討論

賛成 行政と町民が一緒になって望まれる企業誘致を考えることは有意義。

賛成5 不賛成0

採択すべきもの

飯島町が主体となった絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する陳情

参考人：東京大学大学院農学生命科学研究科現地アドバイザーひさお 齋藤久夫氏

質議

問 協定の延長が必要では。

答 先生の任期の問題があるが、可能な限り働きかける。

討論

賛成 絶滅危惧種の生息地を守っていくことは大切なこと、協力して進めるべき。

賛成5 不賛成0

※網掛け部分参照

コロナの影響じわじわと

社会文教委員会は、令和5年度補正予算案件4件の事業調査を行った。調査後に、町内の福祉施設の視察を行った。調査の時に出了た主な内容は以下の通り。

令和5年度補正予算

一般会計

◆住民税務課

問 コンポスト・生ごみ処理機補助金61万の内容は。

答 コンポスト5基・生ごみ処理機15基。申請後5年経過すると再申請可能。補助率は上伊那トップ。

問 新エネルギー普及対策事業委託料770万円の内容は。

答 カーボンニュートラルに関する国の補助金申請に必要な計画作成委託料。

問 地球温暖化対策設置補助金119万円の内容は。

答 太陽光発電システム（1kw/hあたり2万円・上限8万円）・蓄電システム（補助率25％・上限15万円）の補助に対する問い合わせが多いため。

◆健康福祉課

問 福祉医療費給付金給付事業26万円と未熟児養育医療給付事業13万円は。

答 子育て支援の医療費が昨年の実績より3％増えている。未熟児2人の医療費分。

問 障がい児通所等支援事業461万円増の内容は。

答 放課後デイサービスの利用者数と日数が増えたため。

問 新型コロナウイルス接種事業483万円増の理由は。

答 接種をする人数が想定よりも増えたことが要因。

◆教育委員会

問 認可保育園運営費の給食材料費150万円増額の理由は。

答 当初予算で高騰分を見込んだが、想定よりも増えた。

問 就学援助費214万円の内容は。

答 9人増による増額。コロナの影響で収入減による要因。

問 中学校管理費の工事請負費123万円の内容は。

答 放送室の防音材・壁の修繕とエアコンを設置する。

問 中学校教育振興費の修繕費30万円は。

答 アイパット5台分。

国民健康保険特別会計

問 一般被保険者療養給付費の2,768万円の増は。

答 上半期実績により1人当たり医療費増のため。

町内施設の視察

いっ子センター (子育て支援センター)

現状 親子の遊び場と育児の相談ができる場所。1日12人ほどの利用がある。町外者の負担は500円で、30人ほどが利用している。

育児後の就労支援も実施。

課題 雨に濡れずに乗降できる場所を検討中。

石楠花苑(社協が運営)

現状 生活介護13人・デイサービス16人・障がい者支援(高校3年生から41歳)10人の利用者。

課題 運営状況は厳しい。社協の仕事内容の検討が必要。



多岐にわたる支援

こまくさ園 (障がい者の作業所)

現状 町内15人と駒ヶ根の人も利用している。7割が知的障がい者。自主作業(干し芋・栗の販売など)と受託作業(部品の検査など)が充実しており、工賃は2万円ほどと高水準を維持している。

課題 施設の老朽化がひどく、雨漏りなどの修繕が必要。



やりがいと生きがいのある仕事募集中

物価高騰対策がやっとな事業者に！

12月定例会は12月8日から27日までの20日間開催し、人事案件1件・条例改正案件7件・令和5年度補正予算案件7件・その他2件・陳情4件・議員発議2件が提出され審査を行った。（評決結果は、P.9参照）

人事

副町長の選任

副町長の任期満了に伴い、宮下寛氏を選任同意。

条例改正

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例改正

福祉医療事務で被保険者資格と個人番号を利用可能に。

討論

反対 保険証廃止を反対する世論がある。

印鑑登録及び証明に関する条例改正

印鑑証明をスマホなどで取得が可能に。

特別職並びに一般職の給与に関する条例改正

人事院勧告による増額。

国民健康保険税の条例改正

国の改正に伴い、産前産後期間に係る保険税を減額する。

福祉医療費給付金の条例改正

オンラインによる資格確認が可能に。

地域有料賃貸住宅（グリーンハート）の条例改正

入居可能世帯を増やすため、年齢要件を見直す。

令和5年度 補正予算

一般会計（第6号）

主な質疑

問 多面的機能支払交付金は維持管理に必要。大きく減額の要因は。

答 当町に限ったことではない。要求に対して国からの配分が65%となった。県・町村会を通して国に要望を行っている。

討論

賛成 就学援助費、準要保護の増額を評価する。対象者が増加している要因はコロナによる収入減。さらに手厚い支援を。スクールバスへの安全装置設置を評価する。女性の就農環境改善に向け、実態調査を求める。

一般会計（第7号）

国の物価高騰対策に対する臨時交付金により社会福祉施設・医療機関等・農業事業者・その他の町内事業者に支援する。

主な質疑

問 社会福祉施設への支援は。

答 1事業者あたり上限50万円、11事業者を想定。

問 農業事業者への交付金は、10aあたりいくらか。

答 2,000円で積算する。

討論

賛成 物価高騰対策で各事業所への補助を評価する。景気低迷・物価高騰の中で先行き不安な世の中。迅速な実施を。

その他

町道の認定1件

町道南田切線道路改良工事請負契約の締結（専決）

陳情

地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望（文書配布のみ）

年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める（文書配布のみ）

商業施設誘致事業においてタウンミーティングの場を設ける

飯島町が主体となった絶滅危惧種ミヤマシジミの保全

議員発議

議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

ガザ地区における戦闘停止及び人質の即時解放に向けた取り組みへの継続を求める意見書

公開します〔12月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果	賛成：○	不賛成：×	結果	伊藤秀明	坂井活広	折山誠	坂本紀子	宮脇寛行	浜田稔	三浦寿美子	堀内学	星野晃伸	片桐剛	吉川順平	久保島巖	参照ページ
○…賛成多数で原案を可決・認定・採択 ×…賛成少数で原案を否決・不認定・不採択 △…原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択																
人事案件 注																
副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
条例の制定及び一部改正																
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	p8
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	p8
特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
福祉医療費給付金給付条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	p8
地域優良貸借住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
令和5年度 補正予算																
一般会計(第6号)	1億2,408万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p6 p8
一般会計(第7号)	2億639万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
国民健康保険特別会計(第2号)	2,952万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p7 p8
後期高齢者医療特別会計(第2号)	61万円減		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
介護保険特別会計(第2号)	94万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
水道事業会計(第3号)	77万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
下水道事業会計(第2号)	328万円増		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
契約の締結など																
町道路線の認定(山久南支4号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
南田切線道路改良工事建設工事請負契約の締結(専決の認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8
陳情																
商業施設誘致事業においてタウンミーティングを設ける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p6 p8
飯島町が主体となった絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p6 p8
意見書																
ガザ地区における戦闘停止及び人質の即時解放に向けた取り組み継続を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p8

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

町政を問う

11議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

吉川 順平 **新町長の政治スタンス**
「つなぐ」とは _____ (P10)

片桐 剛 **町長の政策**
「つないだ」先の将来像は _____ (P11)

宮脇 寛行 **基幹産業の農業支援**
農地維持と活用が課題では _____ (P11)

伊藤 秀明 **犯罪被害者支援**
条例制定を求める _____ (P12)

星野 晃伸 **笑顔あふれる窓口対応**
接客に対する研修は _____ (P12)

坂本 紀子 **トレーラーハウス**
移動は出来るか _____ (P13)

堀内 学 **将来のまちづくり**
駅前周辺施設の活性化を _____ (P13)

三浦 寿美子 **転居先**
北梅戸住宅見直しを _____ (P14)

浜田 稔 **投票率低下**
仕組みの改善を _____ (P14)

坂井 活広 **町長の考える町づくり**
誰一人取残さないの誰とは _____ (P15)

折山 誠 **七久保診療所**
早期の再開を求める _____ (P15)



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



新町長の政治スタンス

「つなぐ」とは

人を真ん中に 町長

問 町長選での町民の声は。

町長 今の生活の課題を解決し、町の将来に向けて夢の実現を図ってほしいとのことであった。

問 柱である「つなぐ」とは。

町長 人・若者・心・命・暮らし・産業・自然・文化を結びつけ、絶えないよう持続するまちづくりを進める。

問 施策の重点は。

町長 住民が幸せに暮らすための基本を、健康・医療・福祉・教育に置いている。

住民と膝を交えて共に汗をかき、

最後まで責任を持ってまちづくりのかじ取りを行う。

問 学校給食の無償化の見解は。

教育長 課題は財源確保。給食に4,400万円の費用がかかる。子育て施策の中で研究していく。

問 農業・商業・工業・福祉連携の具体策は。

町長 それぞれの強みを生かしながら、町の産業活性化を図る。

問 農業振興と農業施策は。

町長 原点に戻り、生活支援・

地域資源の活用・農地保全をきちんと進めていく。

問 公約実現に向けた組織替えの考えは。

町長 今ある施策を1年間検証し考える。

問 職員とワンチームで汗をかき施策を実行していくとあるが、職員負担の軽減は。

町長 係長の負担軽減が必要。

問 どのように町の魅力を発信し、人口増につなげるか。

町長 SNSや動画を使い、発信していく。

▶その他の質問
・学校の食育活動



町長の政策

「つないだ」先の将来像は

自信と誇りを持った笑顔あふれる町 町長

問 「つなぐ」がキーワード、「つないだ」先の将来像は。

町長 自信と誇りを持った笑顔あふれる町民が、様々な場所で集い合い、また語り合い、生き生きと暮らしている町を目指す。

問 保育料・学校給食費無償化の時期は。

教育長 財政とのバランスを見て、令和8年度を目標に、実現できるよう研究、検討を行う。

問 物価・燃料・人件費の高騰に対する町独自の取り組みは。

町長 実態を聞き、来年度に向け事業継承・経営継続を支援するチームを設け取り組む。

問 農業・商業・工業・福祉等との連携によるまちづくりとは。

町長 農業を中心とした6次産業化を基本に連携をはかる。技術力・人材などの財産を明確にし、多方面の企業と結びつけることで、イノベーションを起こす取り組み。

問 その連携による効果は。

町長 町内には様々な技術力を持った企業がある。ほかの産業、町外起業家等々と結びつけながら、産業の在り方を研究する。

問 農商工福連携の中で個店に着眼した理由は。

町長 居心地の良い居場所、そのような個店を目指し、まちづくりを進める。

また、魅力ある個店の起業や操業の支援、個店間をつなぎ、魅力的で、特色ある新しいサービスが生まれていくことが町の活性化につながると考える。

12月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

基幹産業の農業支援

農地維持と活用が課題では

田園風景は町の基盤 町長



宮脇 寛行

問 農地の維持と活用が最も大きな課題と考えるが。

町長 アルプスと田園風景は町の基盤として守らなければならない。

農地を守ることは地域を守るという意識で、様々な利用方法を地域住民と考えていく。

問 担い手不足や後継者不足への支援は。

町長 新しい3K「かっこよく・稼げて・革新的」農業を目指すことが担い手を増やすと考える。

新規就農者を含め様々な支援を考えていく。



ドローンで効率化

問 小規模農家や兼業農家を守る施策は。

町長 スマート農業で対応しながら、昔の協業組合※のようなものを復活する必要がある。個々の農家に任せるのではなく、

利用形態も含めた負担軽減を行い、小規模でも農地を守っていきける農業の仕組みを考えていく。
※大型機械を共同で購入し、作業の効率化を図る組織

問 農地維持には多面的機能支払交付金の金額確保が必要。取組の方向性と町独自の対策は。

産業振興課長 交付金事業は引き続き予算要望を行っていく。緊急的な補修が必要な場合は、地方債の活用や町費で実記。

問 経営の厳しい移住就農者に対する支援と効果は。

産業振興課長 面談と経営指導により、危機的な状況を脱し、改善に向かっている。

▶その他の質問

- ・レディースファーム
- ・飯島流ワーケーション



犯罪被害者支援

条例制定を求める

3月議会に上程したい 町長

問 犯罪被害者支援条例の制定を求めるが。

住民税務課長 犯罪被害にあわれた方やその家族・遺族の方は、事件の影響を受け、権利が侵害される可能性がある。

当町では現在まだ条例が制定されておらず、制定と犯罪被害者等見舞金給付要綱の整備が必要であると考えます。県の条例や市町村の条例を参考に、現在条例や給付要綱の素案を作成しています。

3月議会には上程出来るように

準備を進めている。

重層的支援体制整備事業

問 進捗状況と課題は。

健康福祉課長 準備作業に取り組んで2年目で、庁舎内の連携体制の研究・各分野の事業点検・地域住民の居場所の研究中。課題は会計事務の大きな改変・国への定期報告が必要で、関係部署の事務量の増大が見込まれる。

準備期間中に包括的な支援体制

の整備を進め、補助事業を活用するか、しないかを検討する。

所信表明

問 公約を実現するには、いつまでに何をやるかの工程表が必要と考えるが。

町長 公約を実行するためには実効性の担保が必要。第6次総合計画の施策とひもづけることで、実効性の担保とする。

ロードマップは今後作成するように考えている。

▶その他の質問

- ・高齢者の孤独・孤立対策
- ・子ども基本法施行にともなう町対応
- ・中学校諸課題



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



笑顔あふれる窓口対応

接客に対する研修は

自ら学び考え行動する 町長

問 役場職員の町民に対する対応は。

町長 全ての職員が役場の窓口であると考え、役場は町民の幸せ創造研究所。

町民と向かい合い職員から出向き要件を聞ける住民対応に努める。

公用車の管理・入札

問 公用車の管理・入札をどのようにしているか。

総務課長 公用車が配置された

所管で担当を決め管理をしている。公用車全体の管理は総務課で行っている。

入札は、リース契約と車両本体の購入契約を分けて行うこともできる。

不要となった車は状態を見て、廃車にするか、売り払いするかを考える。

町民のスポーツ向上

問 柏木運動場の進捗状況と、利用団体に意見を聞いているか。

教育次長 平面的な基本設計ができ詳細について検討している。飯島FCに話は聞いている。

問 スポーツクラブの記念事業に対する支援や・個人の表彰に対する祝い金はあるか。

教育長 相談があれば補助金などを紹介している。

個人はプレスリリース、全国大会以上で激励金を出している。

町長選挙

問 投票率・期日前投票の状況・広報活動の状況を分析したのか。

選挙管理委員長 投票率は71.2%、期日前投票者は2,090人。期日前投票所は2階の防災室でないとい狭い。投票率向上に向けた研修をしている。



坂本 紀子

トレーラーハウス

移動は出来るか

難しい 町長

問 国の補助金を活用した事業であるが、移動は出来るのか。

地域創造課長 事業費約8,400万円の内、国の新型コロナウイルス感染症対策交付金で用地造成やトレーラーハウス5台購入に7,580万円を使っている。

処分制限期間は、トレーラーハウスが4年・給排水工事などは15年と定められているため、町の都合で処分は出来ない。制限期間内に処分する場合は、違約金として一定の補助金相当額を国に返還する必要がある、移動は難しい。

問 事業展開はこのままか。

地域創造課長 今までの検証をし、再度検討をしていきたい。



移動できないトレーラーハウス

与田切公園の今後は

問 坊主平まで植えた紅葉の活用は。

地域創造課長 サイクリングロ

ードもできたので、整備をしながら検討したい。

問 公園内に遊具の設置を求める声が多いが。

地域創造課長 年齢に合わせた遊具を検討中。

文化館周辺等利用は

問 コロナ以降さらに利用率が下がっている。検討委員会を作り、提言書を作るべきだが。

教育長 町での運営と民間による運営のメリット・デメリットが示した答申書が出ている。再度、検討したい。

問 図書館東側一帯の利活用は。

教育長 文化館周辺の活性化策と併せて検討したい。

▶その他の質問

- ・商業施設の緑地帯の利用
- ・給食食材の地産地消の取り組み

12月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。



堀内 学

将来のまちづくり

駅前周辺施設の活性化を

駅の成り立ちを地域で考える 町長

問 広小路が広がった経緯は。

町長 町の玄関口と中心市街地を結ぶ重要な幹線道路。渋滞の緩和を目的で拡幅をした。

問 役場や新しく誘致する商業地など多くの施設で、車が無いと利用が難しいと考える。

主要拠点と各自治会をつなぐ交通網の整備が必要と考えるが。

町長 車社会で発展してきたことも事実。しかし、高齢化社会では、公共交通機関が充実し、生活に必要な施設が集約されていることが望ましい。

問 駅前には、金融機関が集約されており、買い物や飲食ができる店が多くあり利便性が良い。福祉や医療関連の施設が増えると利便性が高まると考えるが。

町長 駅前の活性化には成り立ちを地域で考え、「居場所」ができるような施策が必要である。地域の人の目的となり、そこに行けば何かある・誰かいるといった場所にしたい。

命のサポーター制度

問 どのような制度か。

町長 現在の複雑化した課題を包括的・重層的に支援する制度。既存の「ひきこもりサポーター事業」が5年経過した。見直しを含め、専門家養成も検討する。

問 全国的に自殺者の一番多い働き世代には、気軽に相談に行ける環境が整備されていない。

民間企業への委託を考えながら体制整備をすべきだと考えるが。

町長 行政が取り組んでも敷居が高く、一歩踏み出せない方も多い。民間を含め気軽に相談できるような「居場所」を整備することが最も重要である。

▶その他の質問

- ・トレーラーハウスの利活用



転居先

北梅戸住宅見直しを

十分検討してもらった 町長

問 舟久保住宅の取り壊しにともない、90代の女性が北梅戸住宅に転居した。これから転居する高齢者もいる。

生活の場は1階の4畳半で、押入れはわずか。町から、危険なので2階は使わないと言われたが、急な階段を一段ずつかまってる上り、後ろ向きに下りている。

選択肢に北梅戸住宅を入れたことが問題だ。転居先を安全な平屋に見直しを。

町長 3月から懇談・転居先の

案内をしてきた。十分検討のうえ決めてもらっている。

建設水道課長 バリアフリーの町営住宅を民間業者と協力して建設する。令和8年度完成予定。空き家等の活用も検討している。



「上ってはいけない」と言われても

保育園育休退園

問 新聞報道に育休退園の記事があった。町では、育休取得で、上の子が退園になるのか。

教育長 退園になる。全国的な課題で、箕輪町は廃止の方向。前向きに検討していくが、保育士の確保が問題である。

福祉灯油券の発行

問 平成19年度は灯油が1リットル100円を超えたため、福祉灯油券が発行された。現在は110円を超えているため、福祉灯油券の発行を求めるが。

町長 物価高騰対策支援金で対応。暖房に灯油以外を利用する家庭が多い。現金給付とする。



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。

投票率低下

仕組みの改善を

政治の信頼度を高めることが基本 町長



問 公職選挙の投票率低下が続いている事への所見は。

町長 政治への信頼低下がある。若い人の心も掴めていない。選挙制度の改革も必要だと思う。

問 参議院選挙のデータを分析した。有権者の多い投票所は投票率が約10%低い。所見は。

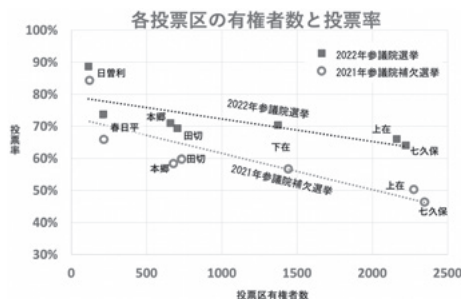
選挙管理委員長 指摘の件など原因は見えてきた。

期日前投票の改善や国への制度改革提言もしている。若年層はネット発信で済ませているのかもしれない。

問 高齢化で投票率の急落が懸念される。郵便投票は介護度5に限定だが、投票所に行けない人は利用できるようすべきでは。

町長 実体に合わせた選挙制度改革を国に働きかける。

町長 実体に合わせた選挙制度改革を国に働きかける。



有権者1500人以上の投票所は投票率が1割減る

外国籍の町民への対応

問 外国籍住民比率は高く、地域産業の担い手だが対応は。

地域創造課長 就業や雇用主指導はハローワークが窓口なので把握は十分ではない。地域との繋がりもまだ薄い。

健康関係の事業は国籍によらず同等のサービスを提供している。

問 災害時の対応や文化の違いが地域との摩擦を生まないようにする上で、雇用主にも責任を求めるべきでは。

産業振興課長 法律に基づきハローワークの所管で、町は監督指導する立場に無い。

▶その他の質問

・町施設の夜間照明は適切か



町長の考える町づくり

誰一人取残さないの誰とは

坂井 活広

町民全員を指す 町長

問 所信表明で町の高齢化率が37.9%を超え深刻である旨述べているが、少子高齢化や人口減少はやむを得ないという理解でよいか。

町長 ある程度の人口減少は避けられないと思っている。今住んでいる皆さんの幸福度を高める。

問 今年度の出生数が9月時点で10人であることへの所見は。

町長 出生数の激減は承知している。危機感を抱いている。

問 まちびと政策プランナー会

議Cグループにおいて、中学生を対象にした立会演説会の提案をしたが実現しなかった理由は。

町長 学校関係者や教育委員会との調整が未了、代表者の記載がないこと、提案が直前で選挙期間中に実施する時間を確保することが困難などのため。

問 上記の問題が解消されれば、仮に4年後に実施した場合、参加する意向はあるか。

町長 ある。

問 生徒会に予算をつけて執行してもらおうという提案に対し、

町長は消極的か。

町長 消極的ではない。

問 公約の中に自治組織の見直しがあるが、スケジュールは。

町長 できるだけ早い段階で組織を立ち上げて検討する。

問 議会では、外国人との住民懇談会を実施する予定だが、町では実施する予定は。

町長 色々な課題が見えてきた段階で実施していきたい。

問 「障がい者プラン」でグループホームの設置を目指す旨記載があるが、いまだ設置されていない理由は。

町長 理由の一つは、障がい者の働く場所が整備されていないという点。

12月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。



七久保診療所

早期の再開を求める

折山 誠

医療圏調査から着手 町長

問 選挙公約の一つに地域医療の重要性を掲げている。七久保診療所の再開の道筋は。

町長 再開に向けて地域医療を希望する医師と連絡を取り合っている。

まずは医療圏調査から着手する。

会計年度任用職員

問 同一労働同一賃金に向け、処遇改善を求めるが。

町長 財政状況もあり、段階的に改善に努める。

副町長 まず、期末手当の改善に着手する予定。

新昭和伊南総合病院

問 4年後に開業の新病院とJR最寄り駅間に無料送迎バスを運行するため、市町村長の協議を求めるが。

町長 就任後、伊南市町村長の顔合わせがあり、その席上の話題となった。バス運行に向けた協議を進めて行く。

女性の農業参画

問 女性が農業を行う上で最も困ることはトイレの問題と聞く。公共トイレの増設を求める町民の要望が多く寄せられているが。

町長 町に公共トイレが少ないことを認識している。観光など多目的な用途として、段階的に増設して行きたい。



早期の再開を待つ七久保診療所

自治会未加入者の生の声

自治会未加入者を対象とした懇談会を各地区において開催。延べ15名の住民が参加した。主な内容は以下の通り。

1 自治会費

- ・高すぎる。月に5,000円払っていた。使途も分からない。
- ・世帯人数を問わず一律の金額なのはなぜなのか。
- ・情報公開してほしい。

2 自治会未加入と子ども

- ・自治会に入らないと子どもが行事に参加できないと言われた。子どもにまで影響が出ないようにしてほしい。

3 活動・行事

- ・町がやるべきことの下請け組織になっている。町のことは町でやってほしい。
- ・移住してすぐ、何も知らない

状態で隣組長を受けたが、仕事内容の事前説明が無く、トラブルになった。

- ・知らない人の葬式に参加することを求められた。

4 ゴミ捨て

- ・年に12,000円を払ってゴミを出している。ゴミ回収は町がやることなので、町で対応を。
- ・自治会を抜けた後のゴミ集積所が遠い。ゴミ捨てで苦勞しないようにしてほしい。

5 町の広報誌

- ・自治会を抜けると町の広報誌が届かないのはおかしい。広報誌が届くようにしてほしい。

6 町からの事前説明

- ・移住する前に、町から自治会や隣組の詳細な説明がない。

7 企業誘致・その他

- ・宿泊施設がなく、宿泊のお金が落ちないのはもったいない。
- ・今まで機会が無かったので懇談会の開催はありがたい。
- ・環境や人とのつながりがあり、移住して良かったと思っている

まとめ

自治会未加入者への懇談会開催は初めて。今回の声を受け止め、議員個々での判断に基づいて活動を行う。

議会全員協議会

10月18日

1. 県営中山間総合整備事業(日曾利地区)

日曾利自治会の負担金として総事業費の2%を負担。

2. 飯島町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

11月17日

1. 飯島町カーボンニュートラル実行計画

二酸化炭素排出削減に向けた計画を策定。2013年度を基準として、2030年には52%削減。

2. 南田切地区町道南田切線道路改良工事に係る建設工事請負仮契約の締結

12月5日

1. ChatGPT (学習した知識をもとに文章を作成する) 今後の利用

試験運用を4月から11月末まで実施。活用方法を研究し、研修を行い利用を継続する。

2. 一般職・特別職の給与等改正

令和5年人事院勧告に基づき一般職・特別職の給与等の改正を行う。

3. 物価高騰に伴う低所得世帯給付金支援事業(追加分)の実施

老朽化が進む町営住宅対策として借上型町営住宅の建設事業者が決定。

令和7年度に入居可能予定。廃止を予定している陣馬団地の入居者の転居を優先する。

12月20日

1. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した経済対策

- ①社会福祉施設に対する支援金 (上限 50万円)
- ②医療機関などに対する支援金 (上限 12万円)
- ③農業者に対する支援金 (上限 20万円)
- ④①～③以外の事業者に対する支援 (上限 40万円)

2. 千人塚・御座松間遊歩道整備事業追加補正

自転車を押しながら歩けるように整備を行う。

12月27日

1. 柏木運動場整備事業

ホッケー会場を優先に工事を進めていく。

いいまち 議会だより モニターのひとつ

第104号 広報紙面に対するご意見

1. 表紙

- ・QRコードがいくつもあってすぐに詳細へ飛べる工夫が良い。
- ・季節感が出て良いが、『この特集は裏面です』みたいな案内があっても良い。
- ・子供から大人まで、みんなで作るお祭りだということが分かる写真で良い。
- ・飯島にはたくさんの神社があり、お祭りのやり方や催し物が違うのでそれを知る意味でも良かった。
- ・文字配列、QRコードなども邪魔にならない所でわかりやすい。

2. 特集ページ「議会視察研修」・「どうなった飯島？」 (要望を含む)

- ・クリーンエネルギーのバイオマス発電は、継続的な材料の調達と費用対効果が見込めるかがポイントだと感じた。
- ・表紙には『特集』表記があるが、該当ページにはその表記がない。
- ・町にも取り入れるべき試みだと思いました。いかに考えて町を活性化させるか、今の状態を維持して飯島を引き出すか、視察をもとに企業や商店と連携しながら進めてほしい。
- ・力を入れている分野がわかりやすく読み易いです。

3. 定例会・各委員会

- ・トレーラーハウスはウッドデッキもある素敵な施設だと思うのでもっと宣伝してほしい。
- ・どの案件に対しても妥当な答えだと思いました。
- ・議会だよりでYouTube配信を宣伝してほしい。
- ・議会中は、YouTubeでライブ配信をしてほしい。(若者の視聴率を増やすため)

4. 一般質問

- ・何か起きる前にスクールバスの安全装置をぜひ設置してほしい。
- ・町のこれからについての大切な質疑応答だったと思います。農業と町づくり、難しい問題だと感じました。
- ・家に帰ってゲームをするより「おにぎりゼミ」という勉強の場はとても良いが、中学3年生の子たちは別部屋を設けてほしい。行きたいけど集中出来ない。

5. 全体を通しての意見・要望

- ・多岐にわたる内容を集めて記事にしている様子が伝わる。
- ・全体的にスッキリした感じで見やすく読み応えのある感じがしました。
- ・少しずつですがコロナ禍を抜け、町が様々な課題をクリアすべく奮闘されているのは喜ばしい限りです。
- ・この夏は記念すべき10回目となった7月末の自転車イベントで田切駅前にテントを張って、飲み物を提供していただいた事に深謝致します。



一般質問・審査での意見 請願陳情その後のゆくえ

1. 学校給食センターの調理員の処遇改善を(令和4年9月三浦議員一般質問)

その後→令和5年3月一般会計予算
調理員全体の処遇が改善された。

2. 南街道の空き家解体を(令和4年度総務産業委員会提言)

その後→令和5年6月一般会計補正予算(第3号)
交差点改良工事に合わせて行政代執行による取り壊しを実施。

3. 与田切公園をペット持ち込み可能に(令和3年12月坂井議員一般質問)

その後→令和4年4月からキャンプ場の一部に持ち込みが可能に。

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回は、飯島駅前「まちの駅いいちゃん」スタッフの中村俊二さんに登場していただきました。

イルミネーションが街を照らして10年に…

与田切公園に飾られていたイルミネーションが、飯島駅前・広小路近辺に移されたのが平成26年。今回のイルミネーション「光のファンタジー 2023-2024」で10回目を迎えました。当初は、飯島駅前を中心としたエリアの活性化を目指した、「まちなか活性化協議会」の発案により、アイネットの皆さんのご理解・ご協力と、飯島区地域づくり委員会のパワーでスタートしました。



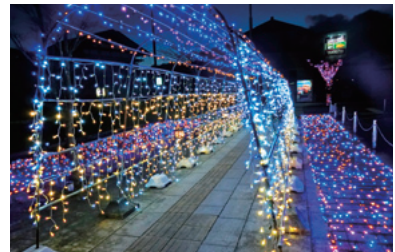
その後、まちの駅いいちゃんが開設され、2年目からは「まちの駅運営委員会」が、事業の中心となり、イルミ作り隊などの地域の皆さんの力で、今日に至ります。毎年イルミ設置地域の拡大や、イルミネーションの増強などが行われ、点灯日のイベントでは米俵マラソンとの連

携など様々な工夫の中で多くの参加者で賑わってきました。しかし、コロナ感染拡大による影響で、ここ数年点灯日のイベントは開催されず、コロナの5類移行に伴い、ようやく昨年9月30日「光のファンタジー2023-2024 光と食FESTA at 飯島駅前」として開催されました。

今回のイベントには、1,000人を超える皆さんが来られ、ストリートピアノを中心とした演奏会・町内産のパンを販売・子どもには駄菓子やボードゲームなど、地域の皆さんの工夫と力で大変盛り上がりました。点灯式には花火もあがり、イルミネーションが今年も飯島の街を、賑やかに明るく照らしています。



この10年を振り返ってみても、様々な変化の中で継続されてきています。まずは地域の力がなければ継続はなかったと思います。この力を確認し合える大切なイルミネーションです。イルミネーションは街を明るくするだけでなく、地域の皆さんの心も明るくしているように思います。今後は、更に継続していこうと力をいれるのではなく、普通の事として、みんなで作り上げていけるような工夫が必要ではと考えています。



町や議会に望むこと

ひとりひとりに目を向けていただき、安心して暮らせる、そんな街づくりの先頭となっていたきたいです。様々な方たちの声を聴くのは12人の議員さんでは大変だと思いますが、よろしく願いいたします。

議会だより



〈問題〉 飯島町に生息する絶滅が危惧される蝶の名前は？

○○○○○○○

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は3/15、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ、いいちゃんポスト・QRコードで、飯島町議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 久保島 巖 編集委員／◎堀内・○坂本・伊藤・坂井・宮脇・片桐

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail : iijima-gikai@cek.ne.jp